

AIR NOMO MAX "PRO BLUE"

日本人初となるナイキのシグニチャーモデルは
トルネード投法が武器のメジャーリーガーのために作られた

ORIGIN STORY

日本人のためにデザインされた初のシグニチャーモデルは、プロ野球選手がMLBへ挑戦するための道を切り開いた、偉大なメジャーリーガーのために製作されている。そのプレイヤーの名前は野茂英雄。バッターに背中が見えるほどに上半身を捻った“トルネード投法”を武器に凌駕したサムライだ。そして全ての野球ファンを熱狂させていた野茂が試合で着用していたスパイクとアッパーデザインを連動させたトレーニングシューズが、ここで紹介する“AIR NOMO MAX”である。アッパーの上下からキバが突き出るようなデザインを持ち、前後にビジブルエアを搭載したルックスは、当時のスニーカーファンの物欲を刺激する。ヒール部分にはカーボンファイバー製のパーツが装着され、実際に着用した時の安定性も上々だった。話題性と確かな性能を併せ持つ日本人初のシグニチャーモデルが、1997年を代表するヒット作となったのも当然だろう。

REVIVAL & BEYOND

NOMO MAXが発売された当時、あまりの人気の高さから国内正規販売モデルだけでは需要に追いつかず、多くのスニーカーバイヤーがNOMO MAXの買い付けに追われていた。そうして海外で発売されたバージョンが国内のセレクトショップに並ぶと、あるディテールが話題を集めることになる。ここで紹介したNOMO MAXのヒールタブに刺しゅうされるナンバリング“16”が、海外版では見当たらないのだ。さらに後日に国内で追加されたカラーにもナンバリング“16”は入っていなかった。多くのシグニチャーモデルにとって重要なナンバリングは、国内限定のファーストモデルにラインナップした2色のみに採用されたレアディテールだったのである。NOMO MAXは2011年に復刻が実現しているが、そちらにもナンバリングは再現されず、当時を知るファンを落胆させた。ヒールに“16”が刺しゅうされたNOMO MAXの復刻はファンの悲願と言えるだろう。



アッパーを染めるブラックの面積を拡大した、日本限定のサードカラー。ヒールタブからナンバリングは消失したものの、シュータンに刺しゅうされる野球ボールデザインに入るスワッシュがレッドとなり、主張を感じるデザインへとアップデートされている。



AIR NOMO MAX "BLACK"
Release year: 1997
Style code: 978008-001
資料提供: kyohino1960



AIR NOMO MAX "PRO BLUE"
Release year: 1997
Style code: 978008-411
資料提供: hashidaian

